

2020年4月1日

各位

一般財団法人若葉台まちづくりセンター

2020年4月1日付組織改革について

まちづくりセンターでは、2020年4月1日付け組織改革を実施いたしますので、お知らせします。

横浜若葉台は、昨年度最初の入居から40年が経過し、人口減少、少子高齢化が進み、まちづくりセンターの事業運営にも少なからず影響を及ぼしています。近年事業の見直し等に着手し、一定の成果を得られていますが、今後ますます「まち」の社会環境の変化は顕著になることが予想されることから、一層の事業の見直しが求められています。2020年度は、さらに一步踏み込み、中長期を見据えた事業戦略を検討し、事業の最適化を進めていくとともに、事業継承のための職員配置も行ってまいります。

1.課題

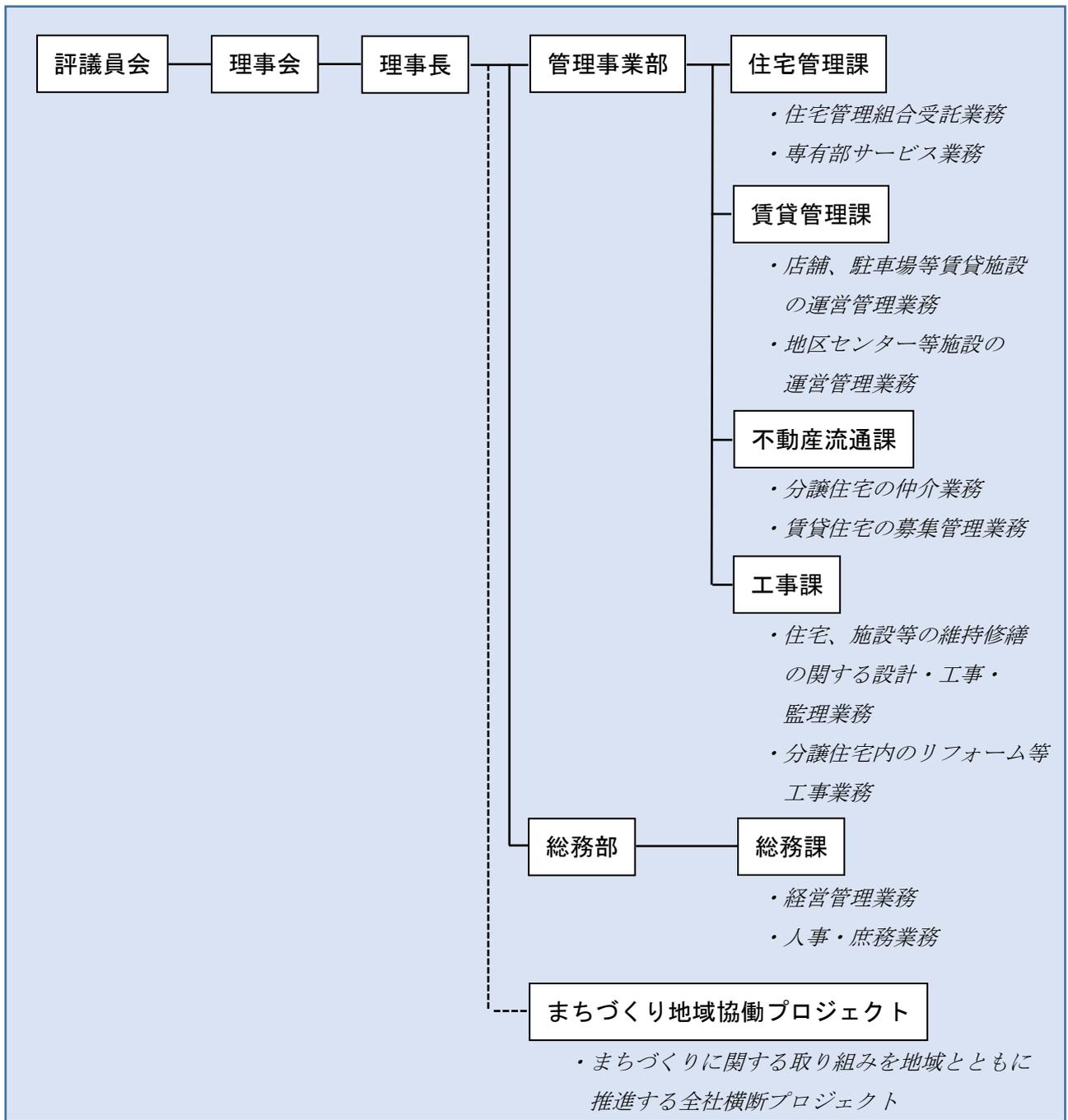
- 中長期を見据えた事業の企画検討
- 「まち」の活力を維持する取り組みの継続
- 事業継承を見据えた職員の登用と増強

2.具体的内容

- 1) 従来現業部門は「公社賃貸管理事業部」と「若葉台管理事業部」の2部体制でしたが、社会環境の変化に対応するため、さらに中長期を見据えた事業を企画運営していくためには、現業部門内の一層の連携が不可欠であり、「管理事業部」の1部体制に再編成します。
- 2) 住替え支援の強化、さらに多様な住替えに対応するため、分譲住宅の流通と賃貸住宅の流通の各業務を合体させ「不動産流通課」を新設します。
- 3) 管理組合業務の拡充および事業継承を目的に該当部署の職員を増員します。
- 4) 商店街の空き区画が拡大していることから、空き店舗解消および既存店舗の維持を最重要課題と位置づけ、該当部署の職員を増員します。
- 5) 「まち」の活力を維持する取り組みを強化するため、「まちづくり地域協働プロジェクト」の活動を強化します。

以上、関係各位におかれましては、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【新組織体制】



※斜体部分は、主な業務内容